

米兵が女性に暴行

強制性交致傷罪での起訴判明

那覇地検

沖縄県で女性に性的暴行をしようとしたとして、那覇地検が昨年12月、米海兵隊上等兵のジョン・ピゲイ被告(23)を強制性交等致傷罪で起訴していました。この事件は米軍施設外で発生。近隣住民

を強制性交等致傷罪で起訴していました。事件は米軍施設外で発生。近隣住民

りました。地検は認否を明らかにしていません。声が聞こえる」と一一〇番

起訴状によると、ピゲイ被告は昨年10月、女性につけ付けましたが、被告は逃げました。米軍捜査機関の協力を得て被告を特定しました。

定しました。

被告の初公判は5月23日、

公表しなかった理由を「被害女性のプライバシーに配慮したため」と説明しています。

判決は同26日に予定されています。

米側が先に身柄を確保した場合、日本側が起訴するまで米側の拘束が原則認められます。今回は、米側が県警の求めに応じたため、身柄が米側管轄下にある状態で任意で取り調べ、地検に書類送検しました。

県警は、これまで事件を公表しなかった理由を「被

害女性のプライバシーに配慮したため」と説明しています。